

かしま 議会だより

第120号

令和6年12月定例会号

令和7年2月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



議場コンサート

12月定例会	P2～P3
議案審議	P4
一般質問(10名)	P5～P10
意見書	P10
議場開放コンサート	P11
議会・選管による主権者教育	P11
鹿島青年会議所と議会運営委員会の意見交換会	P12
請願に対する審査報告	P12
文教厚生産業委員会行政視察報告	P13
議会あれこれ／議長交際費	P14



鹿島市のホームページも
ご覧ください。

鹿島市議会

検索

70th
Anniversary
KASHIMA

2024年は鹿島市制施行70周年



鹿島市公式アカウント
でのひら役所



いますぐ友だち追加！

定例会

鹿島市議会

令和6年12月定例会 会期日程

1、会期

自 令和6年11月29日
至 令和6年12月18日

2、日程

【11月】

29日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程(市長の提案理由説明)

30日・休会

【12月】

1日・休会

2日・休会(議案研究)

発言内容通告締切(正午)

3日・休会(議案研究)

4日・休会(議案研究)

5日・議案審議、質疑、討論、採決

6日・議案審議、質疑、討論、採決

7日・休会

8日・休会

9日・常任委員会(請願審議)

10日・休会(議案整理)

11日・一般質問(4名)

12日・一般質問(3名)

13日・一般質問(3名)

14日・休会

15日・休会

16日・休会(議案整理)

17日・休会(議案整理)

	釘尾勢津子	宮崎 幸宏	笠継 健吾	中村日出代	池田 廣志	杉原 元博	樋口 作二	中村 一堯	松田 義太	勝屋 弘貞	角田 一美	伊東 茂	福井 正	松尾 征子	中村 和典	徳村 博紀	採 決 結 果	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

次のことを審議し決定しました

【令和6年12月定例会】

議案第46号	専決処分事項の承認について（令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第4号））
議案第47号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第48号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第49号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第50号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について
議案第51号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第52号	鹿島市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第53号	鹿島市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
議案第54号	令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）について
議案第55号	令和6年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第56号	令和6年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
議案第57号	令和6年度鹿島市給与管理特別会計補正予算（第1号）について
議案第58号	令和6年度鹿島市水道事業会計補正予算（第2号）について
議案第59号	鹿島市休日こどもクリニックの指定管理者の指定について
議案第60号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第61号	鹿島市教育委員会教育委員の任命について
意見書第3号	物価高騰等に対する地域経済対策の充実強化を求める意見書（案）
閉会中継続審査申出	請願第1号 鹿島市民交流プラザ浴室利用日曜日営業の再開に関する請願書

議案審議

議案第53号

鹿島市下水道条例の一部を改正する条例の制定について



松尾 征子議員

質問一 使用量の伸び悩み、施設の改修が厳しくなったという理由での値上げ。計画地域の加入が充分でないために使用量

が増えないのではないかと。未加入の人たちが加入し易いように設備資金の補助制度が必要と思う。

答弁 設備資金については費用を借りたところに

どで普及を呼び掛けているところ。

質問二 公共下水道事業に対し県からの補助はあるのか。

答弁 県からの補助はない。他の市町もない。

議案第53号

鹿島市下水道条例の一部を改正する条例の制定について



伊東 茂議員

質問 公共下水道事業の経営改善化のために下水道使用料を約25%値上げの提案には断固反対する。物価高騰が続く中、今年

6月には水道料金を15%値上げした。下水道使用料は水道使用料と連動し2か月毎に請求される。飲食店や下水道供用区域の皆さんから苦情が寄せられている。公共料金の度重なる値上げは鹿島市が推進する定住促進に逆行している。

答弁 鹿島市下水道審議

会に諮問し価格改正は適正と答申を受けた。公共下水道事業は汚水処理に要する経費を使用料で賄うことが原則とされている。財源不足を一般会計から補填するのは厳しい。

議案第54号

令和6年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について



笠継 健吾議員

質問一 令和6年度末の市債残高見込額は約135億6千万円である。年間の支払利息はどうか。金利は安く対応している

か、現在の金利はどうか。

答弁 市債利息は年間7,947万円支払い予定。金利は期間により

0・9%である。

質問二 市債残高は約135億6千万円であるが、臨時財政対策債と市債の交付税措置を差し引けば実質市債支払い額は

56億7千万円となる。市債の取組みは交付税措置の見極めが重要だがどうか。

答弁 市債の交付税措置の有無、措置率を十分に検討し取組んでいく。

議案第54号

令和6年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について



勝屋 弘貞議員

質問 北公園管理棟の空調設備予算330万円について。高額のような気がするが。

答弁 管理棟には事務室・利用者のスペースがある。現在2台あるが、故障したために取り換え工事を行う。事務室に壁掛けタイプ1台、利用者のスペースには同型の天井埋め込み式だと大工事が必要となり、より高額となるため、据え置き型2台を新たに設置する。ガラス張りの部分が大き

いために冷え辛く、能力が高いものを予定している。



北公園管理棟

一般質問に10人が 登壇しました

一般質問のYouTube動画配信！

12月11日、12日、13日に行われた一般質問の
YouTube動画を観ることができます。

【12月11日】



釘尾 勢津子 議員
松尾 征子 議員
杉原 元博 議員
福井 正 議員

【12月12日】



中村 日出代 議員
中村 一堯 議員
伊東 茂 議員

【12月13日】



樋口 作二 議員
池田 廣志 議員
松田 義太 議員

高齢歩行者と高齢 ドライバー問題への 取り組みについて

質問一 高齢ドライバーの免許証自主返納後の対応策について。

答弁 家族の送迎、バス、タクシートの利用が考えられる。自主返納された市内居住者で、満75歳以上の方には、1回限り使用期限なしの8000円のバス・タクシー券を総務課で発行している。

質問二 県内外での事故の事例と特徴について。

答弁 ①信号機のない横断歩道を横断中②横断歩道がない交差点を横断中③前方・後方・左右不確認のハンドル操作不適④ばんやりして、考え事をしていた時等に多い。

質問三 事故に遭遇しないための対策は。

答弁 交通ルールの再確認



釘尾 勢津子 議員

鹿島のまちづくり・人づくり
について

認、雨の日・夜間の運転を控える。明るい色の服を着る。反射材を身に付けて散歩に出る。道路は交差点・横断歩道を渡るようにして欲しい。

質問四 「日本版ライドシェア」について。

答弁 安全・安心を確保する観点から、タクシー事業者管理の下、タクシーが不足する地域、時期、時間帯において不足分を地域の自家用車や一般ドライバーで補う輸送サービスとして開始された。今後の活性化・利便性向上に向け、地域公共交通会議の中で協議する。

鹿島市の児童生徒 に対するSNSの 取扱いについて

質問一 児童生徒への学習時間、スマホに関わる時間、読書時間、スマホ保持数のアンケートにつ

いて。

答弁 多くの児童生徒が保有しており、スマホの利用時間の増加により、読書の時間も減少していると考えている。

質問二 デジタルデトックスの取り組みについて。

答弁 今後もタブレットの持ち帰りは継続し、必要な管理や家庭や地域への啓発を通して、健全にデジタルデバイスやインターネットと付き合うための教育の推進に取り組んでいく。

質問三 スマホ・タブレットの使用時間のルール作りについて。

答弁 「家庭のルール作り」をお願いしたいと考えている。自ら必要なルールを設定できるような児童生徒の育成が大切だと考えている。



松尾 征子議員

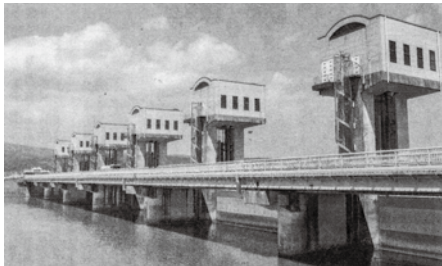
有明海の再生は 諫早湾開門しかない

質問一 諫早湾が閉められてから28年になる。その後、有明海は、死の海と化し今では魚介類が全く採れなくなっている。さらにノリ養殖にしても、色落ちなどの影響もあり大幅に生産枚数が激減している。短期に開門した時、魚介類やノリの生産が一時戻ったという。国は「諫早湾開門を」の声に応えず、歴代農林水産大臣は就任と同時に「開門はしない」という発言。又2010年12月福岡高裁が開門調査を命じ、判決が確定したが今まで開門を実施していない。国はなぜ開門をしないのか。

質問二 11月25日知事と一緒に農林水産副大臣に「有明海再生の早期実現に向けた提案書」を提出したということ、副大臣の発言は。

答弁 有明海再生にしっかりと取り組んでもらいたい。再生に向けた100億円の基金については、国が決めたことだから、地元県の負担はしないようにと要求。副大臣から「有明海再生という意味合いではしっかりとやっていく。」という答え。開門調査というのではなく、有明海再生に向けてしっかりと支援していく。

質問三 諫早湾干拓事業など公共事業にはいろいろな問題がある。一番の問題は請負業者からの献金



調整池側から見た潮受け堤防排水門

問題など「政官業利権構造」の存在だという。このような問題の解決が「有明海の再生」には必要。

答弁 有明海の再生といわれた。国県に要望を続けている。今、ノリの色落ち、嬉野市などにお願いでして横竹ダムから放水をしている。いろんな状況が重なり合って再生が進むと思うのでしっかりと頑張っていきたい。



杉原 元博議員

市内の空き店舗活用と 『JUJIROBLD』について

質問一 市内の空き店舗の現状について聞く。

答弁 現在、スカイロード商店街は空き店舗が7で空き店舗率14・6%。祐徳観光商店連盟は空き店舗が5で空き店舗率10・9%。

質問二 空き店舗を活用して地域の交流拠点となるカフェや会議室を備えた『JUJIROBLD』がオープンした1階コワーキングスペースの利用について聞く。

答弁 予約なしで誰でも利用できる、一人から少人数の打ち合わせ、貸し切りのイベントスペースとしても利用できる。

質問三 『JUJIROBLD』内でサテライトオフィス構える企業について聞く。

答弁 現在、入居あるいは入居予定が4社で、いずれも本社は東京都。企

業や自治体の地域連携推進のプロジェクト事業や地域人材発掘などの事業を行われている。

質問四 今後の空き店舗の活用について聞く。

答弁 今年11月から市内の空き店舗情報を登録する制度を創設した。地域の方や商工会等との連携、サテライトオフィスに入居された企業などのご意見を聞きながら、効果的な活用を検討していく。

带状疱疹とインフルエンザ予防接種の費用助成について

質問一 带状疱疹予防ワクチンの定期接種化に向けての議論について聞く。

答弁 定期接種で使用するワクチンに位置付ける方向性に異論は出なかったものの、接種目的や対象年齢、使用するワクチンに関して検討を継続す

るとされている。

質問二 带状疱疹予防接種の公費助成について市の考えは。

答弁 現在検討段階にあるが、担当課としては出来るだけ早期に実施できたらと考える。

質問三 インフルエンザ予防接種の現状の費用助成について聞く。

答弁 高齢者は接種回数1回で自己負担額は1300円。本市の子どもの助成対象は中学3年生までで、1回あたり1000円、残りの額が自己負担となる。

質問四 インフルエンザ予防接種の公費助成拡大についての考えは。

答弁 疾病予防からの観点に加えて、子育て支援の観点からも検討が必要と考えている。



福井 正議員

鹿島市の財政と有明海の状況について

鹿島市の財政問題について

質問 国税では103万円と壁がある。他にも178万円の壁や106万円の壁などがある。国民民主党は壁を178万円に提案をしているが、その場合鹿島市の企画・財政などに及ぼす影響はどうか。

答弁 鹿島で4億5千万円と交付税7千万円影響すると思われる。その場合住民サービス低下にならぬよう国からの補填が必要になると思われる。また鹿島市としても財政改善策に取り組まねばならないと考える。

有明海の海況について

質問 有明海の海流は、反時計回りに流れていると思われるが、海流は以前

のままなのか、変化しているのか。またカモによる食害が発生しているようだが、その対策は。

答弁 海流は白石町沖合で、海流が変わっているという情報がある。魚介類も以前ほどの漁獲がないとの情報もある。カモの食害に対して海上や麦の生産地で行っている。また食害調査を予算百万円で行っている。爆音での追い払いを行っている。干潮時の対策として、ドローンを使ってライトを当てる対策なども行っている。海苔生産や麦生産への影響がないような対策をこれからも取り組んでいく。



有明海清掃の様子②



有明海清掃の様子①

法律、鹿島市条例等の遵守について

質問一 鹿島市の管理運営は法律の定め、施設を維持し住民に利用させるどころか、その真逆で予算が予定より約93万7千円増額するからその増額分を風呂の営業を閉鎖して浮かせるとの交流プラザ所長からの起案、提案だった。施設を維持する事を止めて鹿島市民に利用させる事を禁止する閉鎖の措置をとる。法律に全く定めのない行為をし、市民の権利を奪ってしまった。この責任をどうとるのか市長答弁をお願いする。

答弁 管理する中身について、解釈として条例に定めていないが使用中の中身について管理できる。

質問二 利用者のお願いは風呂の再開だ。再開し



中村 日出代議員

鹿島市民交流プラザ浴室利用日曜日営業の再開について

てもらいたい。高齢者は「一人で風呂に入るのがえすか。一人で風呂に入りよっての事故ばかりたね。せいけんがかたらの風呂に入り来よつとよ。」と言われる。高齢者の事故防止にもなっている。それから身体の不自由な方は風呂を用意するのが難しい。だから近くの老人会長達が送ってくれている状況だ。日曜日休みの方はトレーニングジムで汗を流して家に帰る。これを楽しみにされている。利用者の皆さんは「なし日曜日ば休みにすつとやろうか。おかしかろうもん。」と言われる。利用されていない高齢者の方に聞いても「市はなしそがんことばすつとね。なしね。」と言われる。市は93万7千円の予算が無いと言っている。「そいはおかしな。」と言われる。色々理由はあるだろう。閉鎖されて8ヶ月になる。市民の声を聞いて風呂を再開してもらいたい。これが利用者のお願いである。市長再開してほしい。



市民交流プラザかたらい



中村 一彦 議員

鹿島青年会議所と議会との 意見交換会について

人口増加と定住対策

質問 先日、鹿島青年会議所と議会運営委員会の意見交換会を開催した。青年会議所は責任感と情熱を持つ若者たちで構成され、地域の発展を目指して活動されている。主なテーマとして人口増加と定住対策、市内イベントの運営とサポート、スポーツ振興基金補助金の拡充について議論した。過去10年間で鹿島市は約3,500人の人口減少が進んでおり、定住促進策が急務とされている。青年会議所は地域活性化イベント(例:鹿島ご当地グルメフェス2024)を通じて町を盛り上げているが、子育て世代の転入促進のため、他自治体のような出産祝金制度や鹿島市独自の支援を求める声が上がった。今後鹿島市としてどう考えているのか。

答弁 鹿島市独自の支援としては、10月から脱炭素事業として個人住宅へ太陽光発電設備補助に35万円、蓄電池補助に47万円、空調機器補助に45万円などの補助を行っており現在それぞれ6件ずつの申請実績がある。また、宅配ボックスの設置補助では1世帯あたり佐賀県1万円、鹿島市1万円、上限2万円の補助を行っており、今年度106件の実績がある。定住促進のため、空き家の購入改修補助に50万円の補助を行っており、6件ほどの申請が今年度あつていいる。今後は出産補助金なども検討していきたい、子育て世代の転入促進に取り組んでいく。

質問 全国大会出場者への遠征補助金が近隣自治体と比べて低く(鹿島市:5,000円、白石町:10,000円)、増額を要望する意見があつた。子育て世代の遠征費負担軽減に向けた取り組みが必要。また補助金申請を「手のひら市役所」などで手軽に行える仕組みの導入を検討して欲しい。

答弁 スマホから手軽に申請できる「手のひら市役所」での取り組みを進めていく。また、遠征補助の増額についても新年度に向けて検討していく。



鹿島青年会議所との意見交換会



伊東 茂 議員

物価高による家計への影響と 鹿島市の経済状況

質問一 夏以降、米や野菜の値上がり、食料品・日用品の更なる物価高騰で家計を圧迫している。商店街では買い控え、節約志向が高まっている。この状況を市はどのような受け止めているのか?

答弁 消費者物価指数は前年より2・5%増加。食料品は5%増加している。商工会による景気動向調査に於いても市内経済は低調である報告を受け、担当課も危惧している。

質問二 商工会議所、市内銀行にて景気動向を調査しても市内景気はあまり良くないと回答を得た。この状況は鹿島市だけが厳しいのか? 県内の経済状況を副市長に問う。

答弁 佐賀県財務事務所が年4回、県内の景気動向の調査を行っている。県内は7月以降、緩やかに回復しているとの回答である。ただ、年末と年明けに石油価格の値上げの予定である。農業用ハウス・海苔養殖の乾燥などへの負担増の影響が心配である。

質問三 市民へ向けての物価高騰対策、消費喚起策として商品券(まるごと応援券)の無料配布を強く求める。

答弁 11月下旬、政府は令和6年度補正予算を閣議決定した。今回の補正予算に「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額」が盛り込まれており、推奨事業メニューに該当すれば配布可能と考える。鹿島市としては状況に応じ必要な政策は行っていく。

質問一 浜地区より太陽

防犯まちづくりの推進

光パネル設置、訪問販売への苦情が寄せられている。詐欺や犯罪の被害を軽減するため市内6地区へ防犯カメラの増設を要望する。

答弁 設置に関してはプライバシー保護を考慮し、地元と相談し検討する。

質問二 近年、高齢者を狙った特殊詐欺、SNS型投資詐欺や侵入犯罪など全国で多発している。本市も「防犯まちづくり」のガイドラインの作成が必要ではないか。

答弁 市民の皆さんで地域を守るコミュニティ形成が必要と考える。市内各地区と連携し防犯対策に努める。



樋口 作二 議員

鹿島市制70周年と

これからの鹿島市

鹿島市の成り立ちについて

質問 江戸時代以降、鹿島市の行政区はどのように成立したのか。

答弁 江戸時代の鹿島市域は、鍋島家鹿島支藩だけでなく、佐賀本藩領や嬉野家、深江家、神代家、蓮池家などが複雑に入り込んでいた。明治22年の町村制施行により南鹿島村、北鹿島村、能古見村、古枝村、八本木村、七浦村の6行政区になった。南鹿島村は大正元年に鹿島町となり、八本木村は大正7年に浜町となった。

学校の成り立ちと歴史について

質問 各学校の成り立ちについて。

答弁 日本政府による学制の発布により各地区のお寺などで明治7、8年頃一斉に学校が始まったが、開校年度はそれぞれ学校独自に決めている。

る。以後学校区の変更はほとんどなく現在まで続いているが、明治以来七浦村立であった奥山分校は、昭和33年に古枝小学校区となった。

歴史の掘り起こしと交流の広がりへの期待

質問 香取市との交流について。

答弁 鹿島鍋島藩初代藩主の鍋島忠茂公が、二代將軍秀忠公より戴いた所領が現香取市にあることが縁で、市長同士の訪問や子どもたちの交流が始まった。平成24年にまちづくり連携に関する協定を結び、以後伝承芸能の訪問や道の駅での農産物の販売など様々な交流を行っている。

質問 長崎県雲仙市神代との交流について。

答弁 神代地区は常広城を築城し、最初に鹿島地区を治めた鍋島信房公が移住した土地である。重要伝統的建造物群

の武家屋敷も残っており、共に有明海沿岸振興も図っているので連携の機運を作ってきたい。

質問 中野萬亀女史を通じて太良町との連携について。

答弁 中野萬亀さんは佐賀県初代の女性正教員で、青年教育や婦人教育を通じて地域文化を高めると共に中央でも活躍した人である。高津原出身で現在の太良町伊福地区（当時七浦村）の偉人なので、様々な機会以太良町と連携して教育文化を高めていきたい。



池田 廣志 議員

人口減少が進む中、鹿島市を

活性化するための取り組みについて

質問 秋田県にかほ市に鹿島市から嫁がれた女性

性が、世界的な企業の創始者を生んで居られるので、その地縁・血縁とゆかりを生かして、世界的な企業誘致に繋げるべきと思うので、今後の交流のあり方は。

答弁 11月に秋田県にかほ市長にお会いした。にかほ市長から「両市の友好協定締結については、市民同士の交流を続けるなかで、その先に友好協定が有り、早急に締結することは考えていない。また、両市を行き来するのには距離があり、交流は簡単ではないが、このご縁を無理のない範囲で活かし、交流を続けていきましよう。」と提案があったので、無理のない交流を続けて行く。

質問 市の将来を左右する高規格道路「有明海沿岸道路」と「国道498号」の整備計画は。

答弁 「有明海沿岸道路」は、国と県が施工し、福富に向けて、鹿島市側から工事が進んでいる。また、鹿島・諫早間については、諫早市・太良町と一緒に「有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会」で、早期の事業着手を要望している。また、「国道498号鹿島武雄間」の整備について、11月に県へ「1km幅のルート帯」をさらに絞るよう要望した。

質問 「祐徳稲荷神社」の観光客を市内観光地の活性化策として。

答弁 鹿島市・嬉野市・太良町で「肥前路南西部広域観光協議会」を結成し、共通の観光パンフレットを作り、旅行会社に対し、周遊型観光客誘致に取り組んでいる。

質問 多良岳や有明海の眺望を活かすみかん園等の観光農園化は。

答弁 観光農園は、農家所得の向上に有効だが、アクセスの良い圃場で、駐車場・トイレ・休憩所の整備とスタッフの確保が必要。

質問 「国道207号バイパス沿道の開発」と多様な地下水の情報をもつホームページに掲載すべき。

答弁 バイパス沿道の開発は、農業・農村との調和を図りながら整備を検討し、地下水は、市のホームページに計上する方向で準備中。

質問 市民文化ホール「サクラス」は、開放すべきと思うが。

答弁 イベントがない時は、誰でも入館できるので、入口に「入館できる」旨の表示と椅子等を置き、寛ぐ場所を準備する。



松田 義太議員

鹿島市の直面する 政策課題について

母ヶ浦川周辺の 排水対策について

質問一 母ヶ浦川水系については、毎年梅雨どきに浸水被害が心配される。これまでも議会で取り上げられ、地元七浦地区からも要望があっている。琵琶岬橋から塩屋樋門までの排水対策の取り組みについて伺いたい。

答弁 母ヶ浦川下流域での浸水被害の原因は、母ヶ浦左岸において琵琶岬橋にゴミがたまり閉塞し、内水浸水、または外水氾濫が起きている。この水系は、杵藤土木事務所、杵藤農林事務所、市の農林水産課、都市建設課の4つの管理者によって維持管理されている。昨年からは管理者、地元の方々も含め今後の排水対策について協議を始めた。

質問二 この地域の減災対策として来年度の雨季までに、遊水池の浚渫や豪雨時の塩屋樋門の開門等の取り組み、母ヶ浦川上流の管理など関係者との協議を進めてもらいたい。

答弁 担当課としても、すぐにやれること、中長期的な取り組みなど検討している、指摘のあった対策については対応していきたい。

外国人住民の現状と 多文化共生について

質問一 平成29年から外国人技能実習生制度の導入、平成31年からは新たな在留資格に特定技能が創設された。今後、鹿島市においても外国人住民がさらに増えていくと考えられる。現在の外国人住民数、国籍別数、在留資格別数について伺いたい。

答弁 外国人住民については、11月末現在257人、国籍別ではベトナム79名、ミャンマー41名、インドネシア30名、フィリピン28名、在留資格別では、技能実習76名、特定技能48名、技術・人文知識・国際業務10名などとなっている。

質問二 多文化共生への施策として、災害時の対応、子育て支援、教育環境の整備、市民（地域）への交流などに努めてほしい。

答弁 今後、交流機会の創出など検討したい。



母ヶ浦・琵琶岬橋

意見書第3号

物価高騰等に対する地域経済対策の充実強化を求める意見書

我が国の景気は、緩やかに回復しているものの、昨今の物価高騰等の影響で住民生活や地域経済は依然として厳しい状況におかれている。

地方自治体では、現下の厳しい経済・社会状況の中、こども・子育て政策の強化や福祉・医療サービスの充実、防災・減災対策の推進などに安定的・持続的に取り組んでいく必要があるが、物価高騰等による購買力の低下が、一層住民の生活を圧迫し、更なる地域経済の悪化又は地方行財政運営の深刻化をもたらすことが強く危惧されるところである。

国においては、物価高に対応した13兆9千億円という大型の経済対策を行う方向性が示されたところであるが、地方における食料品をはじめとする生活関連物資価格の高騰等に伴う実質所得の低下による影響を緩和するため、地域経済対策の充実強化を早急に実施するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年12月18日

佐賀県 鹿島市議会

衆議院議長	額賀福志郎	様
参議院議長	関口昌一	様
内閣総理大臣	石破茂	様
財務大臣	加藤勝信	様
経済産業大臣	武藤容治	様
内閣府特命担当大臣	赤澤亮正	様

以上のとおり意見書を提出する。

鹿島市制施行70周年記念事業 「議場開放コンサート」

11月29日（金）9時15分～9時45分、12月定例会市議会の開会に先立ち、多くの皆様
が市議会へ気軽にお越し頂くきっかけとなるよう、議場コンサートを開催しました。

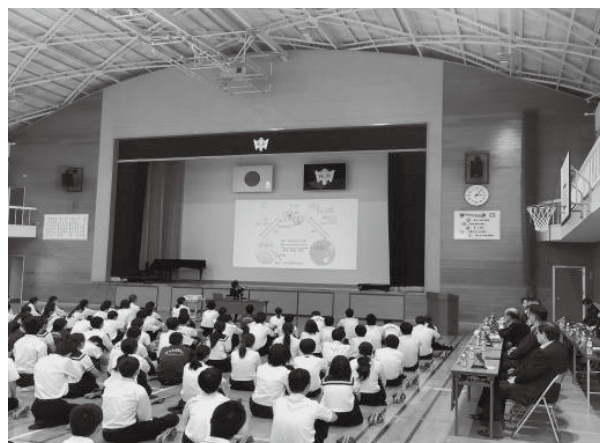
社会福祉法人みらいのそら「にじいろラボ」（就労継続支援B型事業所）により、
「名探偵コナンのテーマ」「負けないで」等6曲が披露され議場に音色が響き渡りま
した。



議会・選管による主権者教育 「東部中学校で出前講座」

10月31日（木）13時40分～14時20分、鹿島市立東部中学校において、鹿島市議会
と鹿島市選挙管理委員会合同で「主権者教育出前講座」を開催しました。

中学生からは「議員はどんな仕事ですか？」「中学校近くの信号を短くできません
か？」「電車が少なく、通学に困っています」など様々な質問やご意見を頂きました。



【鹿島青年会議所と議会運営委員会の意見交換会】

●日 時 令和6年9月17日

●場 所 田澤義鋪記念館

委 員 長：中村一堯

副委員長：杉原元博

委 員：福井正、角田一美、池田廣志、中村日出代

オブザーバー：徳村博紀議長、中村和典副議長

鹿島青年会議所

中尾将之理事長はじめ、40歳以下の若手メンバー約20名

若い人たちが政治に関心を持てる環境づくり、今後の鹿島市の将来像について意見交換会を開催しました。鹿島青年会議所のメンバーからは、「人口増加や定住対策」「市内イベントへのサポートや支援策」「スポーツ遠征費の拡充」「鹿島の魅力を高める政策」など様々なご意見やご要望をいただきました。今後、議会でもしっかりと議論を深めながら若い人たちが暮らしやすい街づくりを進めてまいります。



請願第1号

文教厚生産業委員会審査報告

「鹿島市民交流プラザ浴室利用日曜日営業の再開に関する請願」

令和6年12月5日の本会議において付託されました請願第1号については、12月9日に委員会を開き、審査の結果、継続審査とすべきものと決しました。

以上、会議規則第130条第1項の規定により報告します。

文教厚生産業委員会での主な意見

- ・市民サービスの一環であるから、図書館や北公園など他の施設と同じような条件で開放すべき。
- ・職員の勤務の問題もあると思うが、それなりの配置が必要。日曜日に休むということは許されない。
- ・なぜ日曜日を休みにしたのか、また、利用者のアンケート結果など、利用者と執行部の両方の意見を聞いてから、委員会として最終的に判断したい。
- ・もとの3名体制に戻すとなればどのくらいの予算が必要になるのか。13名の配置のなかで体制がとれるのか。できない理由を確認してから判断すべき。
- ・例えば他の曜日が休みになった場合など、いろいろな問題があると思う。委員会としてもっと調査をして結論を出すべき。継続審査が必要かと思う。
- ・請願者、担当部署にもう一度話を聞いてみたい。日曜日に営業してほしいと思うがデータ等すべて出してもらい両方の意見をしっかりと聞いてから委員会として決めたい。

【文教厚生産業委員会行政視察報告】

●日 程 令和6年10月15日（火）～17日（木）

●出席者 委員長：中村日出代

委 員：松尾征子、伊東茂、角田一美、中村一堯、釘尾勢津子、徳村博紀

●10月15日 熊本県荒尾市立図書館の参考となる取り組み
・学校以外の学びの場について

「高校生が教える勉強会」は高校生自らが小中学生に教えたいという意欲から始まった。夏休み、春休みに開催。高校生と小中学生の双方にとっての学びの場となっている。

評価 鹿島市でも小中校に呼びかけて、是非実施したい事業である。



熊本県荒尾市立図書館

●10月16日 鹿児島県湧水町「芸術がある町」まちづくり事業の参考となる取り組み

人口8,360人の町。湧水町の中学生を京都芸術大学へ派遣。京都芸術大学の先生や学生と芸術作品の制作やワークショップを通じた芸術体験活動を行われていた。

評価 鹿島市でも佐賀大学との交流もあるので、これを活かしたいテーマだった。

●10月16日 鹿児島県川内原子力発電所の見学、研修

・原子力発電のしくみ。

原子炉内で原子燃料が核分裂を起こし大量の熱を発生する。

・原子力発電所の地震対策

強固な岩盤と軟弱な表層地盤との揺れの違いなど活断層の説明があった。

・原子力発電の安全性「多重防護」

機械の故障や操作ミスなどを防ぐための設計や手順書があり、もしも異常が起きても、原子炉を冷やし、放射物質を閉じ込めるしくみなど何重もの対策が採用されている。

感想 核の威力と原子力発電所の厳重な対策の説明を受け、安心感を持つ見学、研修となった。



川内原子力発電所（鹿児島県）

●10月17日 鹿児島県長島町の参考となる取り組み

「長島大陸みらい創生研究所」について

「ぶり奨学プログラム」「5つのプロジェクト」

1 通常の教育ローンより優遇される「ぶり奨学ローン」

2 ぶり奨学ローン等の返済額を助成する「ぶり奨学給付制度」

3 ふるさと納税や事業者等より寄付を募る「ぶり奨学寄付制度」

4 出身の学生や卒業生の交流を図る「ぶり奨学交流事業」

5 就職・起業を支援する「ぶり就職起業支援事業」

2015年11月より「ぶり奨学プログラム」を開始。奨学金、高校生3万円／月、大学生・専門学校生5万円／月この効果で定住が増え消滅都市から脱出した。

評価 人口9,427人の町でも、奨学金制度を充実させ人口減少に歯止めをかけている。鹿島市の参考となる事業だった。



鹿児島県長島町

議会あれこれ(令和6年10月～12月)

10月

- 1日 9月定例会 一般質問
- 3日 9月定例会 閉会
全員協議会
議会報告会プロジェクト会議
- 4日 長崎本線利用促進期成会要望
- 8日 議会だより編集会議
- 10日 議会情報発信・議場開放プロジェクト会議
- 15日 文教厚生産業委員会行政視察(～17日)
- 18日 長崎県・長崎県議会・長崎河川国道事務所要望
佐賀県市議会議長会正副議長会
議会だより編集会議
- 22日 議会だより編集会議
- 25日 議会情報発信・議場開放プロジェクト会議
- 29日 佐賀県西部広域環境組合議会10月定例会
- 30日 佐賀県・佐賀県議会・佐賀国道事務所要望
- 31日 主権者教育出前講座

11月

- 6日 総務建設環境委員協議会
- 11日 九州地方整備局要望
- 13日 議会運営委員会
- 14日 議員研修ハラスメント予防セミナー
- 15日 四市議会議員交流会
- 18日 国道498号整備促進期成会要望
- 19日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会代表者会議
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望
国道207号改良促進期成会同盟会要望
- 20日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
議会情報発信・議場開放プロジェクト会議
- 26日 環境未来都市特別委員協議会
- 27日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会

議会運営委員会

- 29日 議場コンサート
12月定例会 開会(～12月18日)

12月

- 5日 12月定例会 議案審議(～6日)
- 9日 文教厚生産業委員会
- 11日 12月定例会 一般質問(～13日)
- 12日 文教厚生産業委員協議会
- 13日 議会報告会プロジェクト会議
臨時議会運営委員会
- 18日 全員協議会
12月定例会 閉会
全員協議会
総務建設環境委員協議会
- 20日 臨時議会運営委員会
- 24日 議会だより編集会議
地域交通まちづくり特別委員協議会

行政視察受入状況(令和6年10月～12月)

行政視察はありませんでした。

議長交際費を公表します。

金額単位：円

	10月		11月		12月		合計	
区 分	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
弔 意	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝 儀	0	0	1	3,000	0	0	1	3,000
会 費	1	3,000	0	0	1	3,000	2	6,000
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	3,000	1	3,000	1	3,000	3	9,000

編集後記

2町4村が合併し、鹿島市が誕生しました。その象徴であった市民会館から役割を引き継ぎ、市民文化ホール「サクラス」が完成し1年。市制施行70周年記念式典が執り行われ、その折に披露された記念動画を、蘇を飲みながら改めて鑑賞し、新年を祝いました。

住む人、仕事をする人、訪ねて来る人等々。鹿島市にご縁があった一人ひとりの人生の積み重ねによって、鹿島市が発展し、今後も続いていくのだと思います。

2025年はどういうような縁があるのか楽しみです。街は人。人にやさしい街づくりに取り組んでまいります。

(動画はホームページから観ることが出来ます。メイキング動画もありますよ。)

令和6年度 かしま議会だより編集委員会

委員長	勝屋 弘貞
副委員長	宮崎 幸宏
委員	松尾 征子
委員	杉原 元博
顧問	中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。